

ご、こ、ぼ、ほ、よ、り

今月のことば

自灯明法灯明
他人に頼らず、教えにであつた自分自身と正しい教えを道しるべにして生きなさい
お釈迦様(最後の御説教)

2月15日はお釈迦さまが涅槃に入られた(七くなられた)日です

2月15日。春の兆しが日の出に漂うこの日は、仏教をお開きになられたお釈迦様が、八十年にわたる尊い生涯を閉じ、究極の悟りの境地である「涅槃」に入られた日です。ですからこの日や周辺の日に全国の多くの寺院では「涅槃会」が勤められます。

いろんな所にお釈迦さまが涅槃に入られたときの姿を記した涅槃図が伝承されています。クシナガラの沙羅双樹の間に横たわるお釈迦様を囲み、弟子たちはもちろん、鳥や獣までもがその死を嘆き悲しむ姿が描かれています。しかし、その中心にいらっしゃるお釈迦

様の表情はどこまでも穏やかです。それは、生老病死というこの世のあらゆる苦しみから解き放たれ、静寂なる安らぎに到達されたお姿そのものです。

お釈迦様は、嘆き悲しむ弟子たちに最期の言葉を遺されました。それが「自燈明・法燈明」という教えです。「私がいなくなつても、他者に惑わされてはならない。自分自身をの死を悼むための日ではありません。それは、お釈迦様が遺してくださいさつた智慧のバトンを、私たちが受け取る日でもあります。私は、師という形ある存在を失う不安の中にあつた弟子たちに、自立して生きる勇気を与えました。



Gemini (AI) に描いた涅槃図

火は、今も私たちの足元を照らし続けています。
沙羅双樹の花が白く色を変え、静かに散つていつたあの日。お釈迦様が伝えたかったのは、死への恐怖ではなく、命をどう全うするかという情熱でした。2月

15日、静かに手を合わせながら、自分自身の内なる灯火を見つめ直し、今を精一杯生きる決意を新たにしてみてはいかがでしょうか。

涅槃会は、単にお釈迦様の死を悼むための日ではありません。それは、お釈迦様が遺してくださいさつた智慧のバトンを、私たちが受け取る日でもあります。私は、師という形ある存在を失う不安の中にあつた弟子たちに、自立して生きる勇気を与えました。

また、井波別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

涅槃会兼井波別院巡回法座

日時 2月23日(祝)午後1時30分より午後4時まで

会場 常入寺本堂
布教使 三牧 準師

参加費 無料 (ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます)

同居されているかたがおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください

彼岸会兼城端別院巡回法座

日時 3月22日(日) 午後1時30分より4時まで(予定)

会場 常入寺本堂 **布教使** 正門 武士師

参加費 無料(ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます。)

また、城端別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

項目	収入	支出
維持金	271,000	
報恩講収入	140,100	
御正忌収入	81,775	
祠堂経会収入	218,900	
正月収入	374,000	
祠堂	30,000	
本尊借礼	60,000	
その他の収入	20,972	
繰越金	8,651	
本山等支払い		368,000
正月準備		83,344
井波巡回法座		24,469
城端別院巡回座		15,000
夏清掃		15,373
彼岸会		20,000
祠堂経会準備		140,895
報恩講準備		250,489
御正忌支出		16,996
寺報作成		22,360
事務費		44,754
住職費		49,790
建更		84,000
本山共済		50,000
その他の支出		新規契約
計	¥1,205,398	¥1,202,958
		¥2,440

お釈迦さまが涅槃に入られた日、涅槃会。お悟りを開かれた日、成道会。お生まれになつた日、降誕会を合わせて「三仏忌」といいます。お釈迦さまの生涯の三つの大きな節目を記念して行われる最も重要な法要です。ここで用いられる「忌」という言葉は、一般的な「忌み嫌う」という意味ではなく、「慎んで身を正す」という意味です。

「忌」とは、日常を離れ、心身を清らかに保ちながら、尊い存在に対し敬意を捧げる状態を指します。つまり、お釈迦様の遺徳を偲ぶとともに、自分自身の生き方や心の在り方を静かに見つめ直し、律するための大切な時間なのです。

三仏忌は、単なる記念行事ではありません。お釈迦様の歩みを道標として、私たちが「慎みの心」を持ち、日々正しく生きていくことを改めて誓うための、精神的な節目といえるでしょう。法要を務める意味も同じでしよう。

先般1月11日常入寺総会並びに新年互礼会を開催し、昨年度の維持会計の收支報告書を提示し、承認されました。左記の通り報告します。常入寺会計にはそのほか、月参り法要などのお布施、住職への給与などの一般会計があります。



その誘い大丈夫?

例えば、こんな場面でご注意を!!

職場や商売上の付き合いでの注意点:

- …上司や取引先のお得意様など、断りにくい関係を利用しての勧誘もあります。ハッキリ断るか、せめて距離をおきましょう!
- 異業種間交流会などで…ヨガ教室や手相占い、就職セミナー、あるいはボランティアを装った事例も報告されています。

インターネットのSNS上で…見知らぬ人からの友達申請や「いいね」をたどったことをきっかけに、徐々に親しくなり、誘われる事例があります。勧誘の実態が見えづらいので注意が必要です。

友人や知り合いから…相手は善意で誘ってきます。親しい関係でも、その誘いに違和感を感じたら、ハッキリ断りましょう。

宗教に関係のないところから誘われる事例も…チラシや広告での勧誘

チラシや広告での内容:

- …教を語る文化講座や生涯学習講座、映画上映会といったチラシや広告の内容に「新鸞聖人」や「浄土真宗」、「蓮如上人」などの表記があつても、宗派(真宗大谷派・東本願寺)とは関係ないものもありますので、注意が必要です。

人間関係の破壊、社会との隔離、経済的破綻などが待っているかもしれません!!

その誘いの先には…少しでも違和感を感じたら、ハッキリ!断る!!